

ふるさとの川の匂いを忘れないで

～ 児童によるサケの稚魚放流体験事業 ～

4月上旬から中旬、市内を流れる大沢川、象潟川、奈曾川、川袋川で市内各小学校の児童による、サケの稚魚放流が行われました。放流した稚魚は川袋・関各鮭漁業生産組合と県漁協南部総括支所でふ化した約15万匹。児童たちによる放流は、命と美しい自然環境を守る大切さを学ぶことを目的に、毎年行われています。

児童たちは、かわいい稚魚を数十匹ずつをバケツに分けてもらい、「大きくなって元気になってきてね」と願いを込めて、川に放流していました。



小出小児童たちによる稚魚放流：川袋川



稚魚が育つ海はすぐそこ：奈曾川

若者に農業の魅力を伝える

～ 就農アドバイザーを委嘱：佐々木芳郎氏 ～

4月16日、象潟庁舎で、佐々木芳郎氏（中橋町）に就農アドバイザーの委嘱状が交付されました。農業後継者の確保・育成を図るための環境づくりや、若い農業者らが将来にわたり魅力的な産業として働き続けるための人材として、市が委嘱したものです。

にかほ市では初めての就農アドバイザーとなる佐々木氏は、県職員として40年間一貫して、農業技術の普及と指導につとめてこられ、この日は「ひとりでも多くの若者が農業に関心を持ってもらえるように頑張ります」と力強く抱負を述べました。



横山市長より委嘱状の交付を受ける佐々木氏

まちに山野草の彩りを

～ 山野草花壇の草刈り：象潟町野草の会 ～

4月18日には春季大掃除が市内全域で実施されるなど、4月は地域を清潔で快適な環境にする取り組みが行われています。19日には、JR象潟駅にある山野草が植栽されている花壇でも、草刈り清掃作業が行われました。

これは、象潟町野草の会が約20年前から続けている奉仕作業で、約30種類植えられている花壇も、会員たちが整備してきたものです。同会では今回を含め、年3回の作業を行い、訪れる人の目を楽しませ、地域のイメージアップに一役買っています。



素朴な山野草の花壇

4月上旬から下旬にかけて、三崎公園・勢至公園・仁賀保公園・栗山池公園で「にかほ市観桜会」が行われ、多くの市民や観光客でにぎわいました。
期間中は雨や肌寒い天候が多く、開花も遅れ気味でしたが、サクラを見ながらくつろぐ家族連れや、散歩する親子の姿などがあちらこちらで見られました。
17日には勢至公園に隣接する市勤労者研修センター「エニワン」で、ダンスや金浦神楽などのイベントが行われ、市内外から訪れた観光客たちは躍動感溢れるダンスや神楽を堪能しました。
市内では、栗山池公園（5月5日まで）などのサクラが見頃を迎えており、まだまだサクラを楽しむことができそうです。



家族連れや観光客でにぎわう
にかほ市観桜会



フラダンス



仁賀保公園



仁賀保高校吹奏楽部



三崎公園

生活を支える新しい顔

～ 市コミュニティバス試験運行開始 ～

3月で廃止となった羽後交通(株)の4路線に替わり、4月1日から『にかほ市コミュニティバス』の釜ヶ台線・大竹線・上郷線が試験運行を開始しました。春休み中のため、朝1番の利用客は少なかったようですが、集落の代表として「乗り初め」する市民の姿も見られました。

経路上であればバス停以外でも乗降可能な「フリー乗降制」、乗車してすぐに運賃を支払う「前金払い制」に変わっています。

市民の生活を支える、新たな公共の交通機関として活躍するコミュニティバスをご利用ください。



コミュニティバスが来た！